

研究テーマ		建築設計競技班	
発表形式	研究発表	学校名・科	群馬県立前橋工業高等学校 建築科
<p>1 研究のねらい</p> <p>① 三年間の学びの集大成として作品を仕上げる ② 設計への理解を深める ③ 設計技術を向上させる ④ 入賞賞金 10～100万</p> <p>2 設計課題 日本建築協会主催 『私のまちの学びステーション』</p> <p>どのような環境になったとしても、私たちは「自分にとっての『学び』とは何か、また「どうすれば学べるのか」を真摯に考えているのではないのでしょうか。人には学び、成長したいという欲求があります。さて、ここでみなさんに新しい『学び』の拠点として、私のまちの『学び』ステーションを提案していただきたいと思います。それは学校などの教育機関のみならず、まちの様々なところで展開される学ぶ場所であったり、あるいはフィールドワークなども考えられるでしょう。</p> <p>そこは、誰がどのように学ぶ場となるのか、私たちの今の日常があるからこそ、「新しい学びの場」の発信ができると思います。</p> <p>3 設計主旨 識ること発展すること ～木材でつなぐまちとひと～</p> <p>知識の発展と新たな情報の獲得、と言うのが学びの意味だと私たちは考える。ではこの目的を達成するためには、どのような空間が必要になってくるだろうか。私たちは、人と人が行き交う空間でこそ、この学びが得られるのではないかと考えた。一方で建築が人に依存することから、まちとの関わりについても考慮しなければならない。現代日本において、木造の住宅は欠かせないものであるため、森林を守っていかねばいけない。そこで、茂った森林の間伐をすることにより出た間伐材を利用し、施設を建設していく。茂った森林の間伐をすることにより、木の数が少なくなり森林に太陽の光が届き、生態系が守られる。そして万人に、間伐はなぜしなければならないのか、どんな影響をもたらすのか。何に利用されるのかを、この施設で学んでほしい。</p> <p>4 研究成果と課題</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てることの大切さを知ることができた ・設計への知識や図面の表現技法の知識を深めることができた。 ・藩のメンバーとの話し合いや意見交流を通して各々の設計テーマに対する考えを深められた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール管理を詰めて計画することが大変だった。 ・建築物の細部までを、計画していればよかった。 ・途中で話が混線してしまった。 <p>5 感想</p> <p>スケジュール管理を疎かにしてしまったため後半にツケが回ってきて、放課後残るなど大変な思いをしたが、無事いいものへと仕上がったので問題ありませんでした。時間は有限だということを、改めて実感いたしました。</p> <p>班員が二人と少ない中で作品を完成させられたことは、一つの成果となったと思います。時間管理など改善点は多々あると思いますが、それでも満足のいく結果だと感じました。</p>			